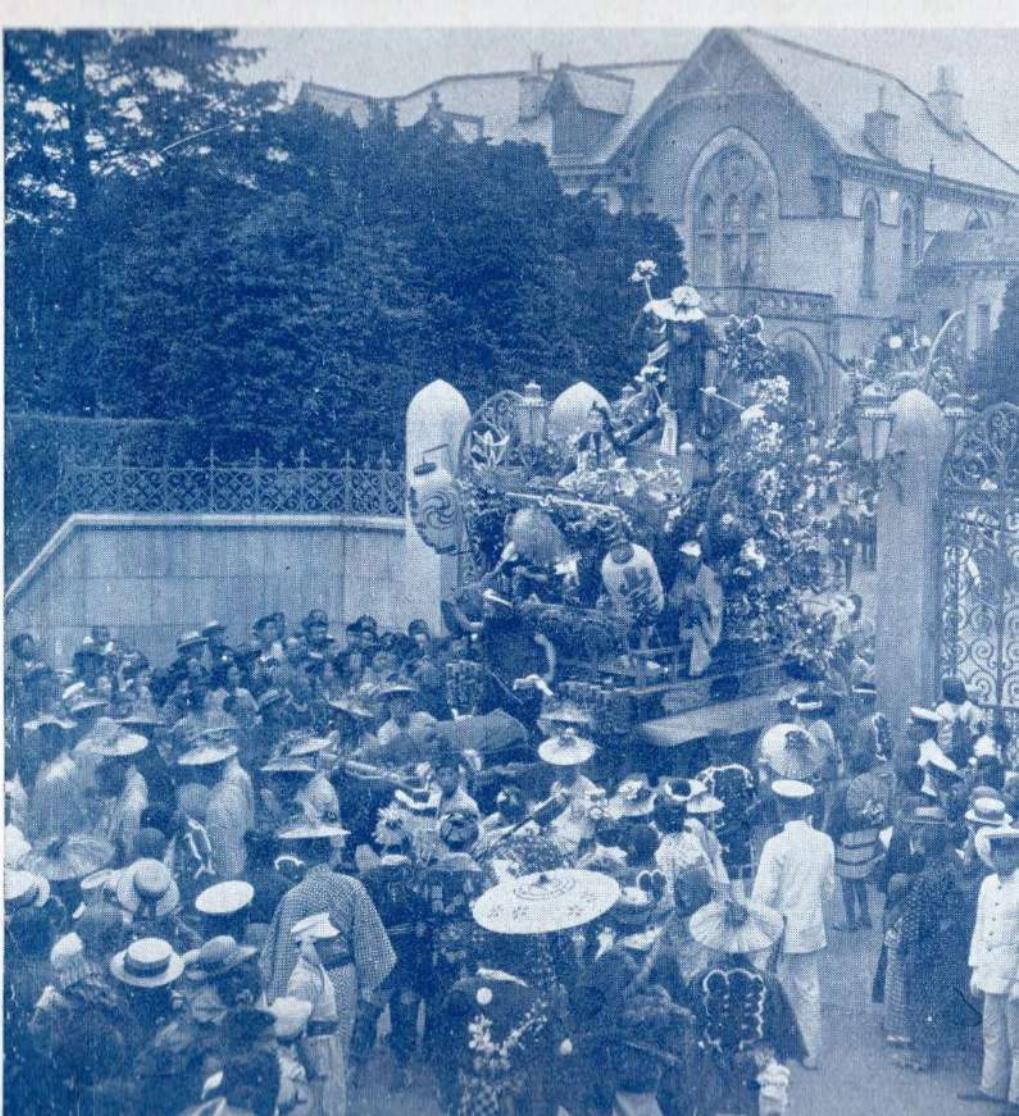






山王祭、右は氏子町内へ神輿の渡御、左は麹町の北白川宮邸へ花車の繰込みたる光景



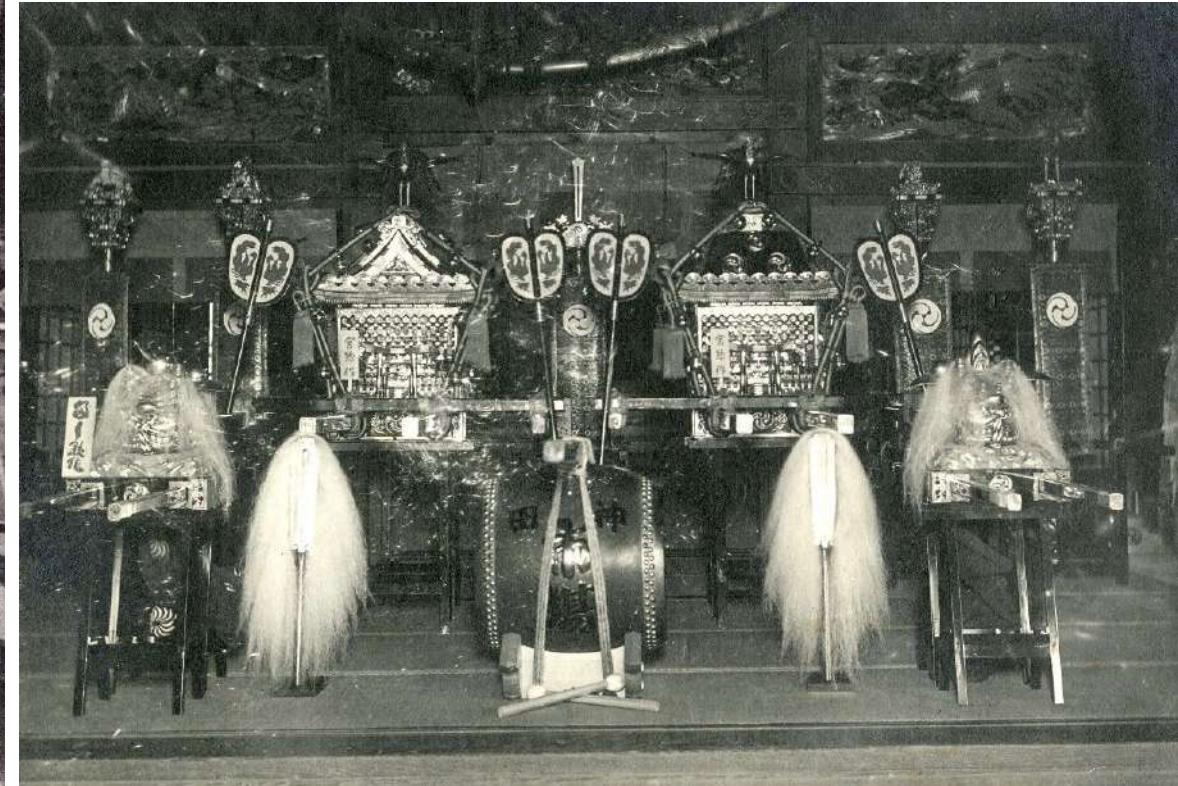
(明治後期の山王祭、若月紫蘭『東京年中行事』明治44年)



明治17年(1884)の神田祭 スウェーデン国立民族博物館所蔵



（御輿輿神） 神祭目丁三町門久佐田





(PR TIMESサイトより)



(豊島区千早二丁目町会 太鼓山車 千早二丁目町会サイトより)



(昭和58年 千代田区小川町三丁目西町会 太鼓山車 小川町三丁目西町会サイトより)

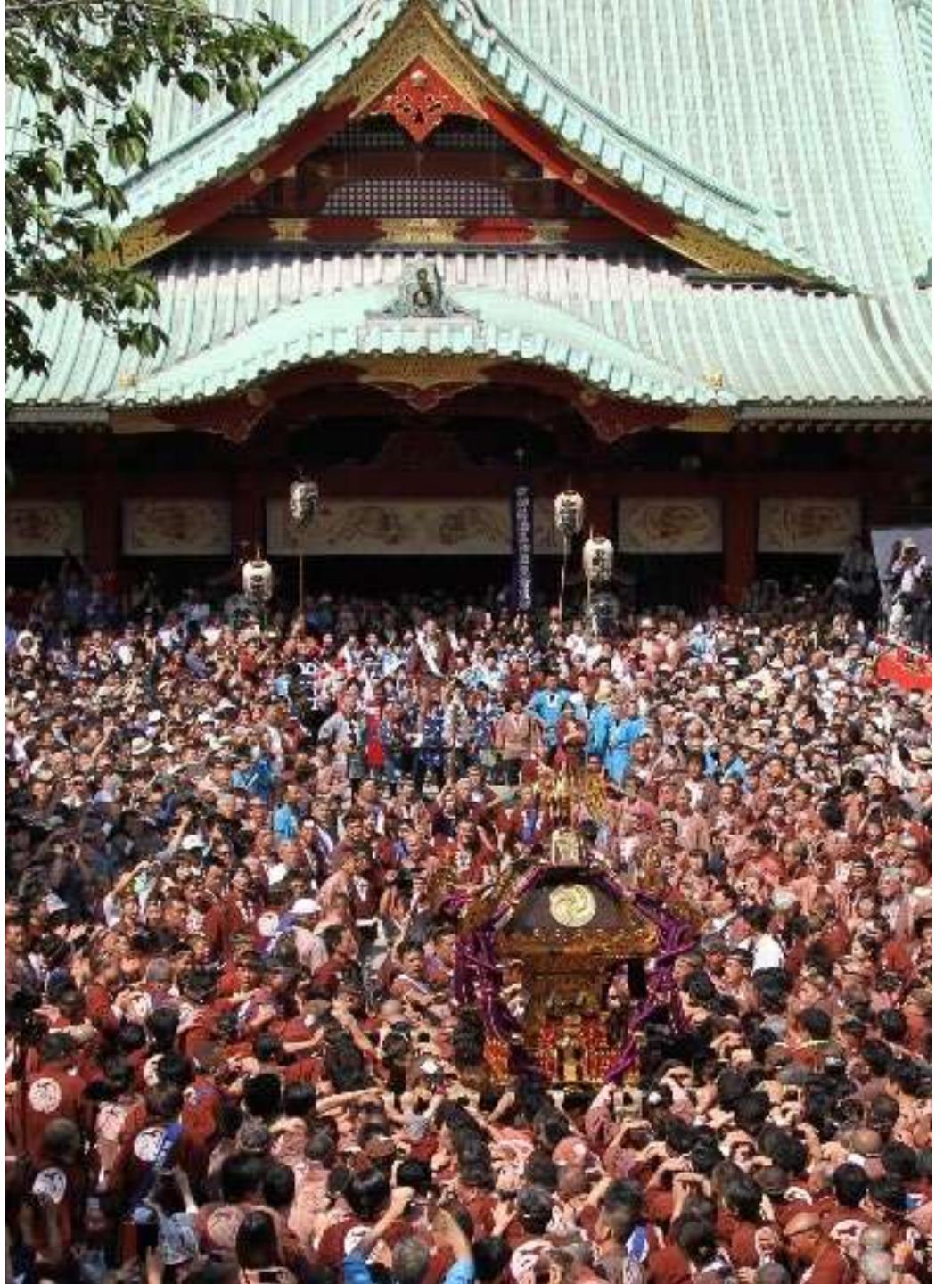


(千代田区神田旅籠町会の太鼓山車と町会関係の子供たち 祭旅人サイトより)



(東郷元帥山車と番町の子供たち 麻町界隈わがまち情報館サイトより)





(須田町北部町会太鼓山車 noteサイトより)

2 「祭礼文化の継承調査」

(2) 文化財としての千代田区に存在する山車人形

区指定有形民俗文化財

日比谷図書文化館：飛驒匠 (1997) 太鼓打人形 (2007)

神田神社：熊坂長範(1988)

未指定

神田神社：神武天皇 (明治17年：最後山車人形師古川長延)

日枝神社宝物殿：土佐坊、神功皇后・武内宿禰(江戸期)



山王・神田祭に由来する人形が震災・戦災を免れ

故郷の千代田区に伝来する奇跡

川越江戸～明治期・栃木市明治初期～中頃・石岡市明治～昭和初期・越谷市昭和初期

町のアイデンティティとしての祭礼道具

(江戸～明治) 山車人形から (大正～現代) 町神輿へ

→モノがつなぐ地域の絆→祭礼



文化継承のための各町会所有の祭礼道具調査 (第一歩：アンケート調査)

(3) 千代田区における江戸東京祭礼に関する研究状況

祭礼文化の継承3つの柱

- ①運営する地域（町会）
- ②行政の協力（区・警察など）
- ③調査、研究

歴史的位置づけと現状の把握

有形・無形文化財の選定と解説
山車神輿の保存等の方向性の提示
啓蒙活動の指針の作成など

祭礼文化継承の一環 としての③調査研究



武家屋敷門（重要文化財）での山車の特別展示（令和6年）
歴史的建造物と伝統文化の象徴山車の融合（赤坂氷川山車保存会HP）

課題：研究者の育成（研究者の高齢化と若手の減少）

地域の絆となる文化財

3 繼承の課題【①運営する地域】

(1) 祭礼文化による町のコミュニティ結束力強化の課題

次世代への継承

子どもの参加、啓発を通じた裾野の拡大

- ・主体的参加をうながす工夫（茨城県石岡市の例）
- ・学校現場等での教育普及（町の文化としての理解）etc.

*父兄の参加→子どもをとおして大人の絆の再構築する可能性

意識の醸成

町の誇りとしての祭礼文化→「人」の育成

- ・氏子地域以外の多様な人の参加
- ・祭礼の運営に関する段取りの可視化
(住民意識の多様化など)

結束力強化の絆=神輿・山車など

モノが居住地域を越えて精神的なつながりを生み出す



継承の課題【②行政の協力】

祭礼事業を継承するために何が必要なのか

祭礼事業への補助

教育普及

連携体制の確立

千代田区+出張所+町会

+公益財団法人まちみらい千代田

行政への提言

地域が祭礼文化を継続

するための支援事業の模索

エビデンス確立のために

町会へのインタビュー調査(更新が必要)

祭礼道具一覧の作成 など

区民との対話と支援調査の継続



明治17年神田祭

(スウェーデン世界民族博物館所蔵)